

# 三十三フィナンシャルグループ インフォメーションミーティング

2021年6月1日



三十三銀行

---

三十三フィナンシャルグループ

# 目次

## I 三十三銀行について

	ページ
三十三銀行の誕生	… 2
三十三銀行の概要	… 3
33FGのビジネスモデル	… 4

## II 2021年3月期決算の状況について

	ページ
2021年3月期決算サマリー	… 6
貸出金・預金等	… 7
有価証券	… 8
非金利収益	… 9
経費・信用コスト・金融再生法開示債権	… 10
自己資本比率・配当政策	… 11
2022年3月期計画	… 12

## III 第2次中期経営計画について

	ページ
第2次中期経営計画の概要	… 14
中期経営計画の基本方針および基本戦略	… 15
基本方針～リレーション&ソリューションの深化	… 16
基本方針～経営の効率化・最適化	… 20
基本方針～強固な経営基盤の構築	… 22
合併シナジーの最大化～合併シナジーの全体像	… 23
持続可能な地域社会の実現に向けたグループ総合力の発揮	… 24
計数計画	… 25

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述はリスクと不確実性を内包しており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は経営環境に関する前提条件変化等に伴い目標対比変化することにご留意下さい。本資料は、当社に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。

### 【本件に関する照会先】

三十三フィナンシャルグループ 経営企画部 石原

TEL 059-354-7187 FAX 059-355-8225

E-mail koho@33bank.co.jp

# I. 三十三銀行について

# 三十三銀行の誕生

2018年4月に共同持株会社「三十三フィナンシャルグループ」を設立以降、合併・システム統合の準備を着実に進め、2021年5月1日に「三十三銀行」として新たにスタートいたしました。

2021年5月1日



誕生



(合併発表時の記者会見)

2019年1月  
関係当局の許認可の取得等を前提として子銀行2行の合併を公表  
合併推進委員会を設置

2019年6月～10月  
店番・店名が重複する店舗の店番・店名変更を実施

2020年4月  
システム統合に備えた事務研修を開始

2019年5月  
グループ共通のイメージキャラクターとして、  
(株)サンリオの「ポムポムプリン」を採用



© 2021 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L627022

2018年4月  
三重銀行と第三銀行が経営統合し、  
三十三フィナンシャルグループを設立



# 三十三銀行の概要

## 概要

本店所在地 三重県四日市市西新地7番8号

### 代表者

取締役会長 岩間 弘  
(33FG代表取締役会長)

取締役頭取 渡辺 三憲  
(33FG代表取締役社長)

### 資本金

374億円

### 設立日

2021年5月1日

### 預金等(※)

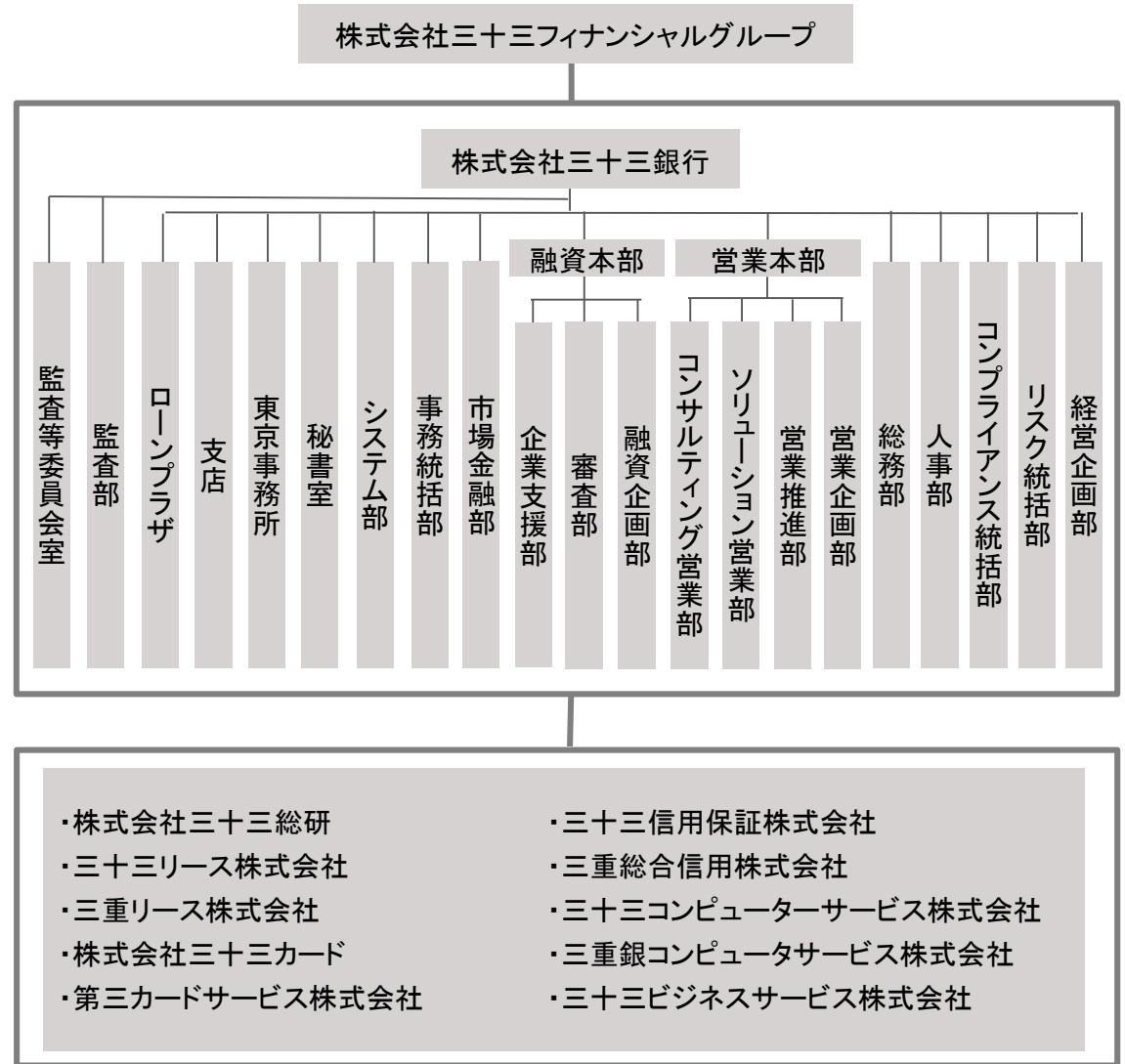
3兆7,970億円

### 貸出金(※)

2兆8,150億円

(※)預金等、貸出金は2021年3月末の三重銀行、第三銀行の単純合算です。

## グループ体制



# 33FGのビジネスモデル

経営理念

地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。

SDGs宣言

経営理念「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」のもと、企業活動を通じて国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

ビジネスモデル

圧倒的なリレーションの構築

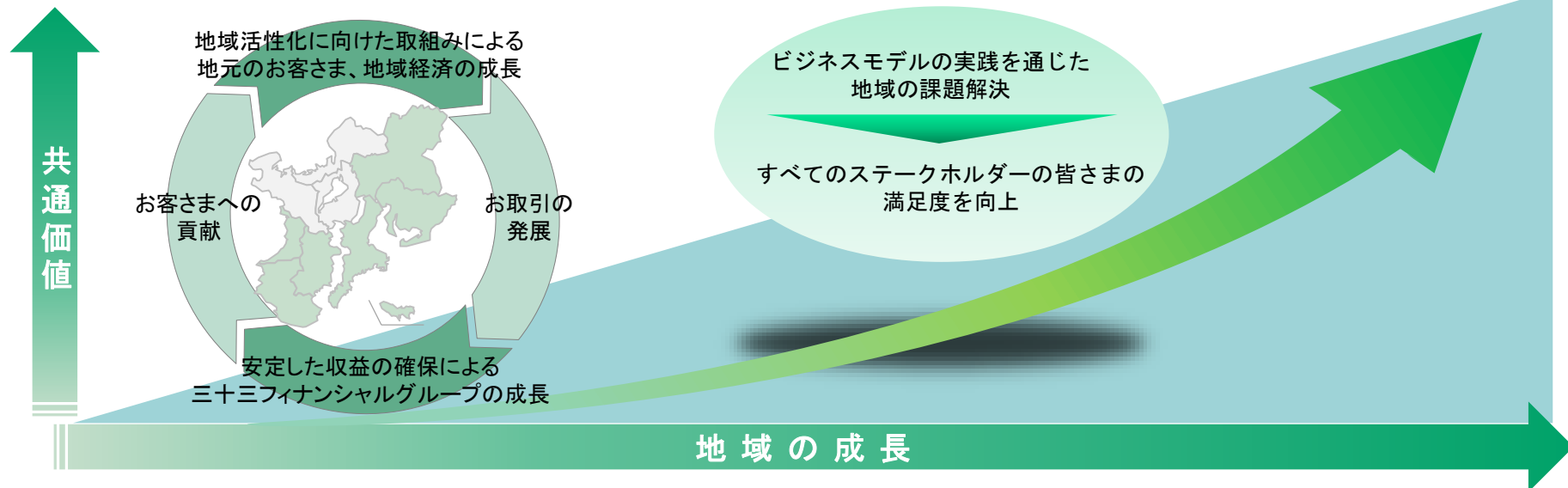


多様なソリューションの提供

## 地域とともに持続的に成長する好循環の実現

持続的発展に向けたビジネスモデルの実現

共通価値の創造





## Ⅱ 2021年3月期決算の状況について

# 2021年3月期決算サマリー

- 2行合算のコア業務純益は資金利益、非金利収益ともに増加し増益。
- 信用コストは大口のランクダウンによる増加を有価証券関係損益で一部カバー。

## ■ 三重銀行と第三銀行の2行単体の単純合算（以下「2行合算」）

（億円）

	2021/3 2行合算	前期比	三重	前期比	第三	前期比
コア業務粗利益	487	14	236	9	250	5
資金利益	375	7	171	2	203	5
うち貸出金利息収入	285	3	139	4	146	▲1
うち預金等利息支払	▲6	△2	▲2	△1	▲3	△1
うち有価証券利息配当金	94	0	34	▲5	60	5
非金利収益	111	6	65	7	46	▲0
経費	▲387	▲3	▲187	▲4	▲199	△0
（うち合併・システム統合コスト）	▲18	▲3	▲10	▲3	▲7	▲0
コア業務純益	99	11	49	5	50	5
（合併・システム統合コスト除き）	117	15	59	8	58	6
有価証券関係損益	103	86	59	46	44	40
国債等債券損益	23	15	▲5	▲5	29	21
株式等関係損益	80	70	65	51	14	19
信用コスト	▲108	▲97	▲66	▲63	▲42	▲34
経常利益	91	▲4	43	▲14	48	9
当期純利益	104	34	23	▲14	80	48

## ■ 資金利益（2行合算）の増減要因（前期比）

	平残要因	利回要因	純増減
貸出金 利息	(+888億円) 9.1億円	(▲0.02p) ▲5.7億円	3.4億円
預金等 利息	(+1,667億円) ▲0.3億円	(△0.01p) △2.7億円	△2.4億円
有価証券 利息配当金	(▲601億円) ▲6.8億円	(+0.08p) 6.9億円	0.1億円
その他			2.0億円
合計			7.9億円

## ■ FG連結

（億円）

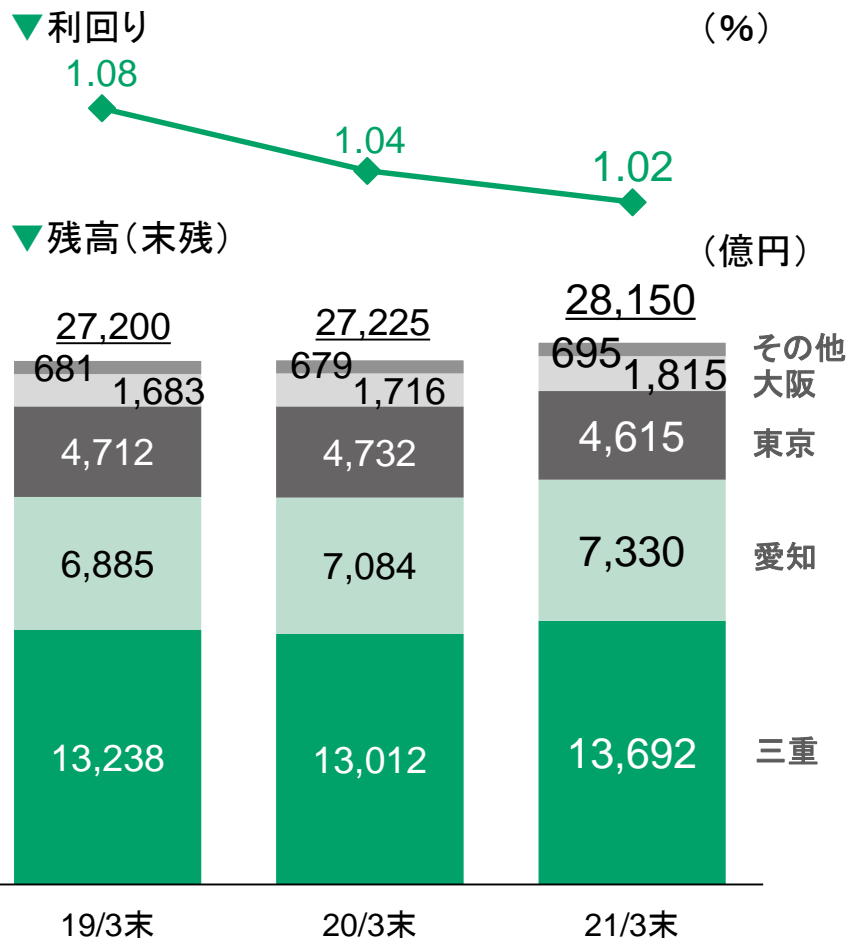
	2021/3	前期比
経常利益	34	▲27
親会社株主に帰属する 当期純利益	41	0



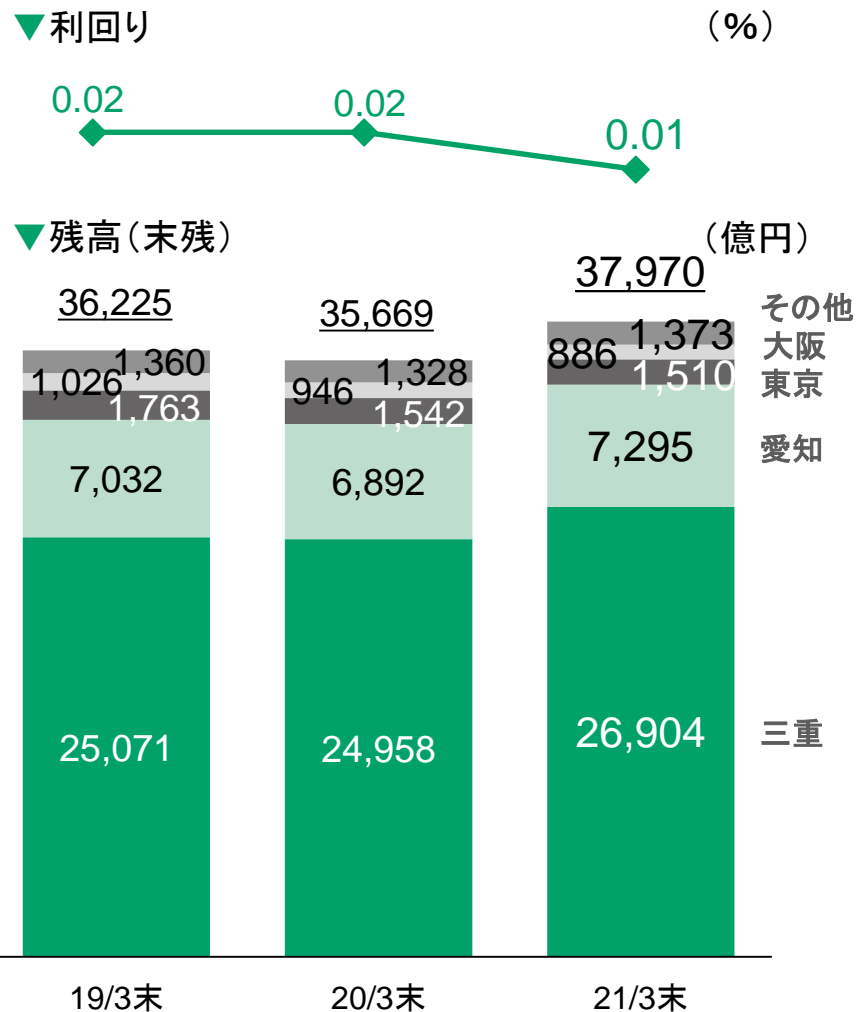
# 貸出金・預金等

➤ 貸出金・預金等ともに地元(三重・愛知)を中心に増加。

## ■ 貸出金残高・利回り(2行合算)



## ■ 預金等残高・利回り(2行合算)



## ▼ コロナ関連融資(21/3末)

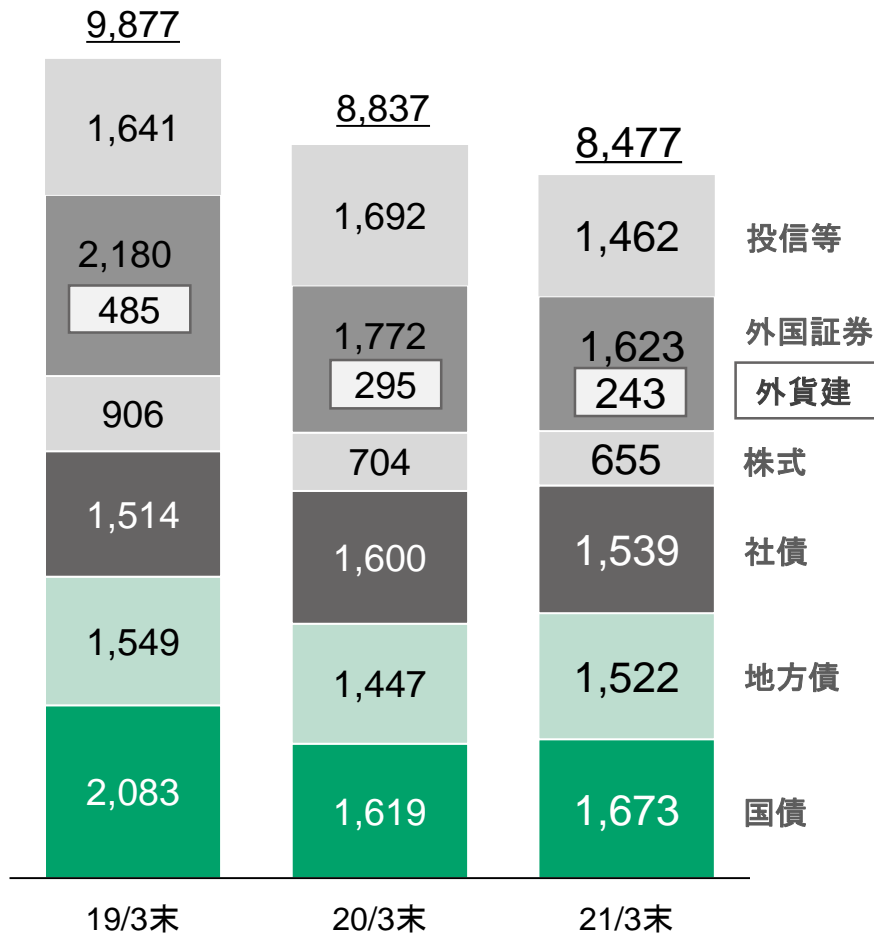
実行件数・・・8,596件、実行金額・・・2,073億円

# 有価証券

- マーケット環境に応じた機動的な売却及び、政策保有株式の縮減により残高は減少
- 評価損益は株価の上昇を背景に増加。

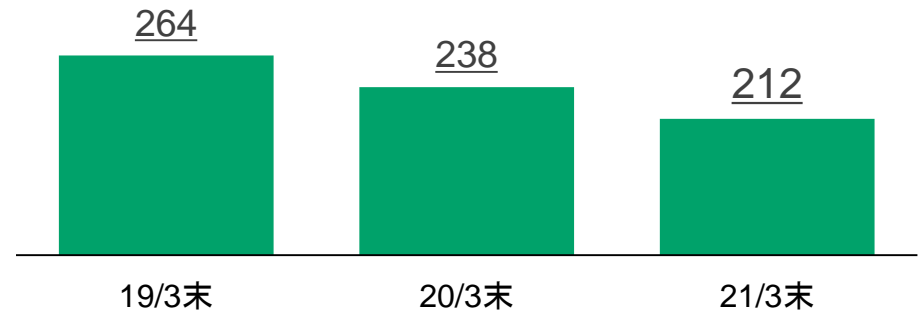
## ■ 有価証券残高(2行合算)

(億円)



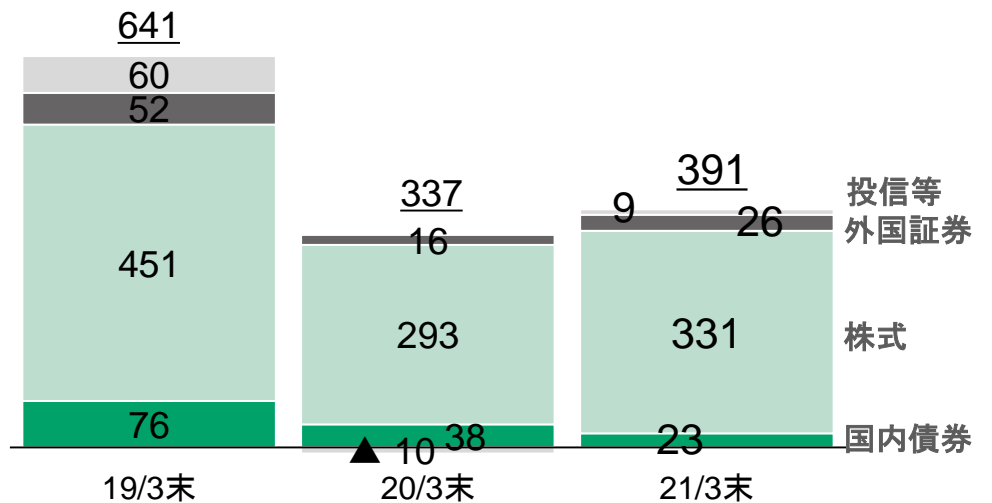
## ■ 政策保有(上場)株式推移(2行合算、簿価金額)

(億円)



## ■ 有価証券評価損益(2行合算)

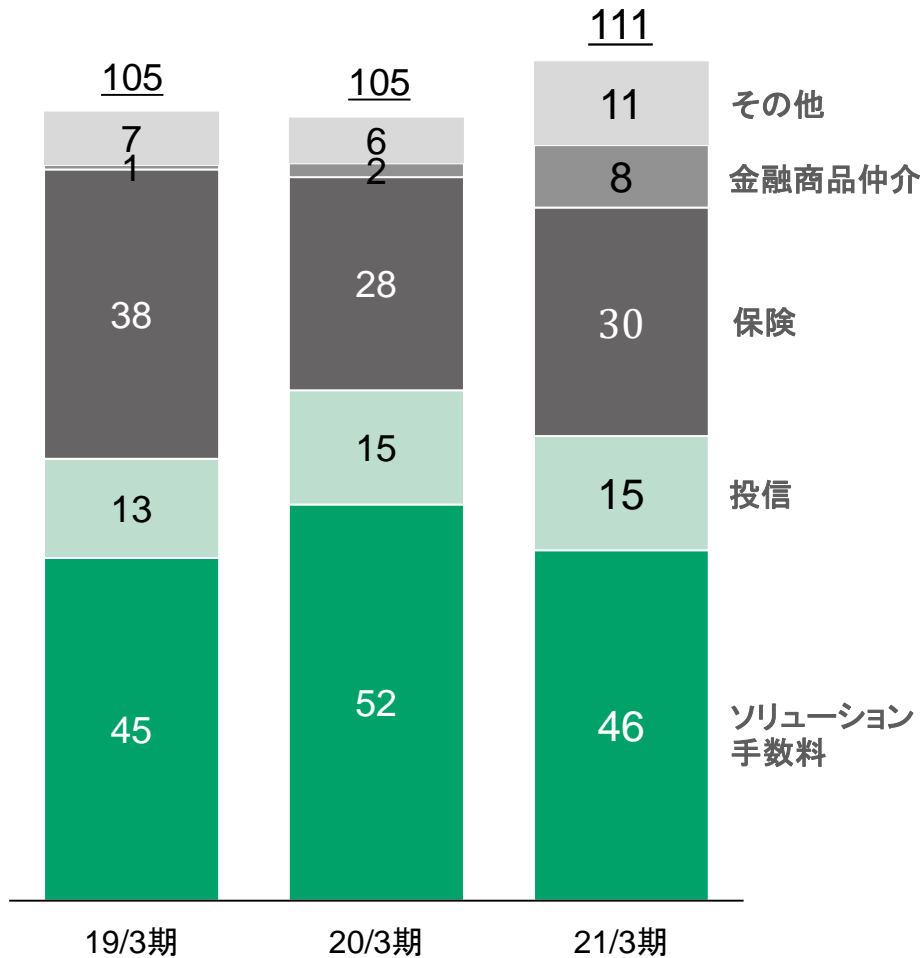
(億円)



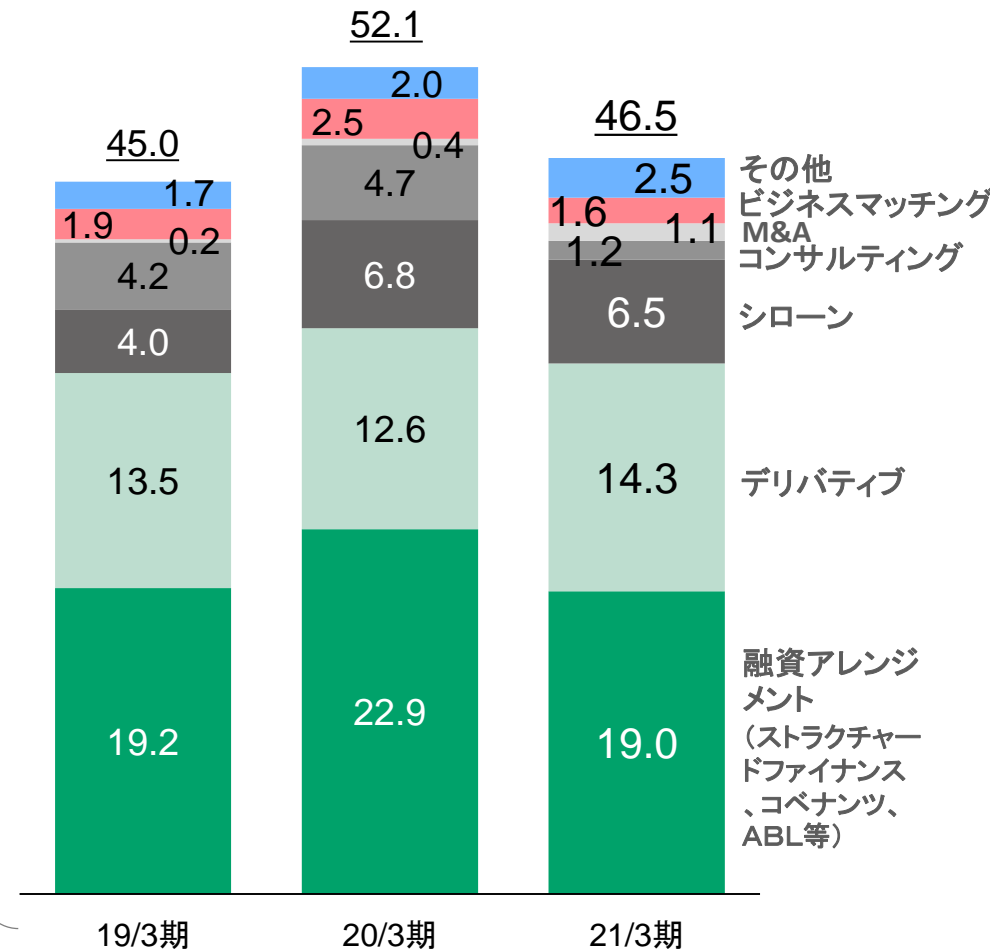
# 非金利収益

➤ 非金利収益は金融商品仲介や保険の販売手数料を主因に増加。

■ 非金利収益(2行合算) (億円)

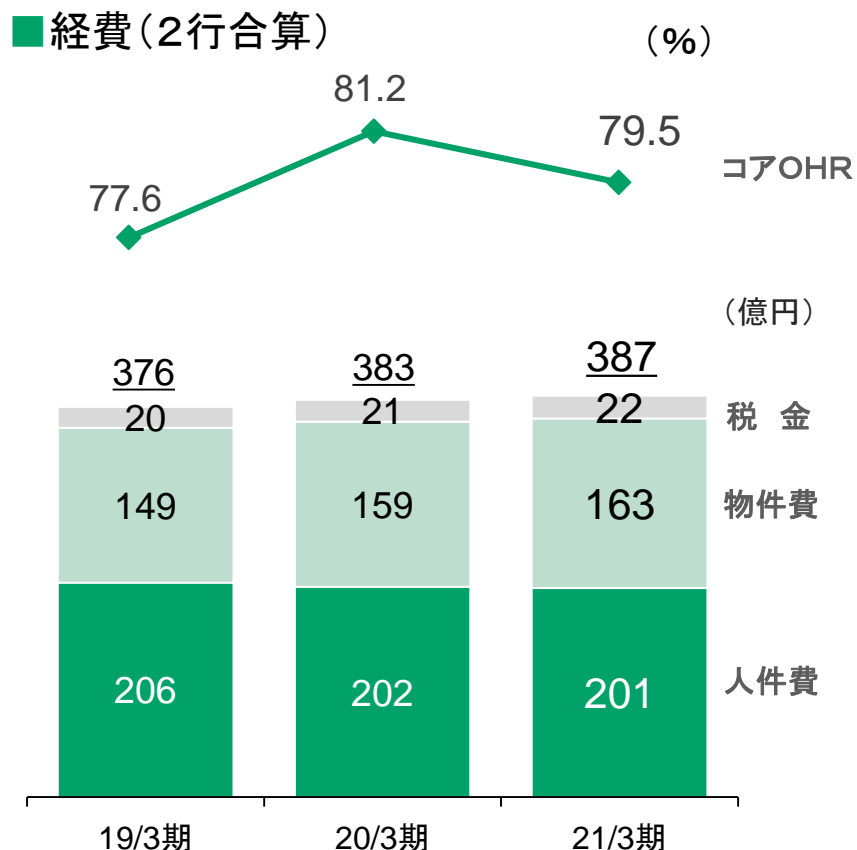


■ ソリューション手数料(2行合算) (億円)



# 経費・信用コスト・金融再生法開示債権

- 経費は合併・システム統合コストを主因に増加。
- 信用コストは大口先のランクダウン及び予防的引当等により大幅増加。金融再生法開示債権比率も上昇。



▼ 合併・システム統合コスト(経費計上分)

(億円)

19/3期	20/3期	21/3期	前期比
▲ 3	▲ 14	▲ 18	▲ 3

■ 信用コスト(2行合算) (億円)

	19/3期	20/3期	21/3期	前期比
信用コスト	▲31	▲11	▲108	▲97
一般貸倒引当金繰入	▲6	△4	▲35	▲39
個別貸倒引当金繰入	▲23	▲14	▲71	▲57
うち新規発生	▲25	▲11	▲76	▲64
譲渡損等	▲1	▲1	▲2	▲0
償却債権取立益	0	0	0	▲0

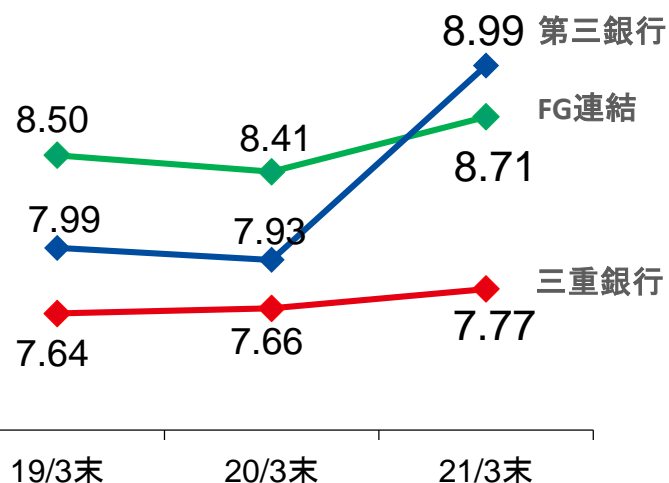
■ 金融再生法開示債権 (2行合算) (億円、%)

	19/3期	20/3期	21/3期	前年比
破産更生等債権	153	154	134	▲ 19
危険債権	342	325	485	160
要管理債権	24	39	48	9
開示債権合計	520	519	668	149
総与信残高	27,696	27,729	28,690	960
開示債権比率	1.87	1.87	2.33	0.46

# 自己資本比率・配当政策

- FG連結、子銀行単体ともに自己資本比率は自己資本の増加、リスクアセットの減少を主因に上昇。
- 配当は引き続き年間72円を予定。

## ■ 自己資本比率 (FG連結、子銀行単体) (%)



(億円)	■ FG連結			■ 三重銀行(単体)			■ 第三銀行(単体)		
	20/3末	21/3末	前年比	20/3末	21/3末	前年比	20/3末	21/3末	前年比
自己資本の額	2,100	2,139	39	987	1,015	27	918	997	79
リスクアセット	24,971	24,560	▲ 411	12,878	13,059	181	11,563	11,091	▲ 471
自己資本比率	8.41%	8.71%	0.30%	7.66%	7.77%	0.11%	7.93%	8.99%	1.06%

## ■ 配当政策

株主のみなさまに対する利益還元を最重要施策の一つとして位置づけ、内部留保の充実による自己資本の向上と長期安定的な経営基盤の拡充を図りつつ、安定的な配当を継続します。

2022/3期 予想	年間	中間	期末
配当金 (普通株式)	72.00円	36.00円	36.00円

# 2022年3月期計画

➤ 合併・システム統合コストの増加、有価証券関係損益の減少を主因として、単体、・連結ともに減益を予定。

## ■ 三十三銀行(単体)

	(億円)	
	2022/3期	前期比
コア業務粗利益	466	▲ 20
資金利益	363	▲ 12
非金利収益	102	▲ 8
経費	▲ 423	▲ 35
(うち合併・システム統合コスト)	52	▲ 34
コア業務純益	43	▲ 56
(合併・システム統合コスト除き)	95	▲ 22
有価証券関係損益	22	▲ 81
国債等債券損益	4	▲ 19
株式等関係損益	18	▲ 62
信用コスト	▲ 34	△ 74
経常利益	31	▲ 60
当期純利益	39	▲ 65

## ■ FG連結

	(億円)	
	2021/3期	前期比
経常利益	17	▲ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	19	▲ 22



## Ⅲ. 第2次中期経営計画について

# 1. 第2次中期経営計画の概要

## 外部環境

- 少子高齢化等、社会の構造的な変化
- 低金利環境の長期化
- FinTech・デジタル技術の進展

- 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う社会・経済環境の変化
- 気候変動への対応
- 規制緩和

ビジョン

質の高い地域ナンバー1金融グループ

位置づけ

完全融合



本格的な成果実現

質の高い地域ナンバー1金融グループを目指し、合併により両行の強みを完全融合させ、本格的な成果の実現を通じて更なる成長に向けた取組みを強化する期間

基本方針

リレーション&ソリューションの深化  
(金融仲介機能の強化)

経営の効率化・最適化

強固な経営基盤の確立

合併シナジーの最大化

持続可能な地域社会の実現に向けたグループ総合力の発揮

- 合併シナジーを最大限発揮し、ビジネスモデルの深化、店舗ネットワークの最適化やDXの推進による経営の効率化・最適化に取り組むとともに、三十三銀行の土台となる人材の育成、組織の融和等を推進し、強固な経営基盤の確立を図っていきます。
- グループのSDGs宣言に基づく諸施策の実施やニューノーマルを見据えた地域経済活性化に資する取組みなどを推進することにより、地域の持続可能性（Sustainability）の向上に積極的な役割を果たしていきます。



## 2. 中期経営計画の基本方針および基本戦略

ビジョンである「質の高い地域ナンバー1金融グループ」の実現に向け、合併シナジーを最大限発揮し、以下の基本戦略に基づく具体的施策を実践します。

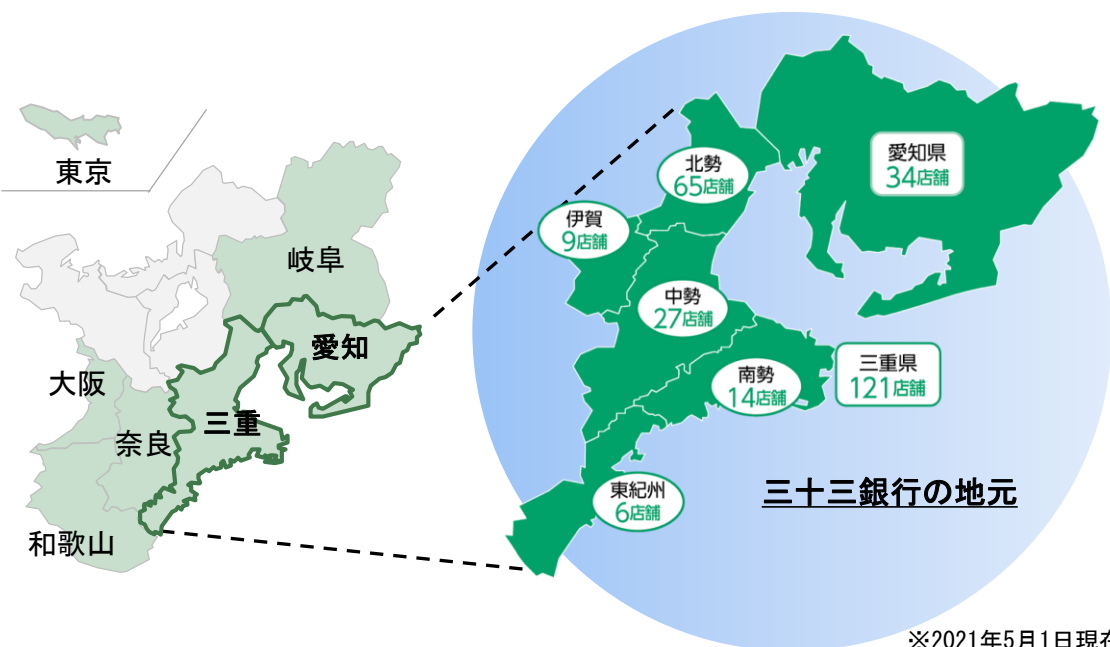
<u>基本方針</u>	<u>基本戦略</u>
リレーション& ソリューションの深化 (金融仲介機能の強化)	<input type="checkbox"/> 顧客基盤の拡充と顧客起点のコンサルティング機能の発揮 ・リレーション強化によるゆるぎない顧客基盤の構築 ・ライフステージに対応した質の高いソリューションの提供 <input type="checkbox"/> ニューノーマルを見据えた地域経済活性化への持続的貢献 (地域事業者のValue Up)
経営の効率化・最適化	<input type="checkbox"/> 店舗ネットワークの最適化 <input type="checkbox"/> デジタル化の推進による業務効率化 <input type="checkbox"/> 人材の最適配置 <input type="checkbox"/> コストマネジメントの強化
強固な経営基盤の確立	<input type="checkbox"/> 実効的なガバナンスの実践 <input type="checkbox"/> 高度なビジネススキルを有する人材の育成と働きがいのある組織の構築 <input type="checkbox"/> リスクマネジメントの高度化

## 2. 基本方針～リレーション&ソリューションの深化①

これまで両行が培ってきた強みを完全に融合し、一層の基盤拡大を図り、地元（三重県、愛知県）を中心にグループのプレゼンスをこれまで以上に発揮していきます。

### リレーション強化によるゆるぎない顧客基盤の構築

#### 三重・愛知を中心とする広域な店舗網



店舗数	三重						愛知		
	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	名古屋市内	名古屋市外		
計171店舗	65	27	14	9	6	34	24	10	
	大阪	和歌山	奈良	岐阜	東京				
	6	5	2	1	2				

#### 法人戦略

リレーション強化による強固な顧客基盤の構築

- リレーションシート（事業性評価シート）の活用スキル向上によるお客さまとの相互理解の深化
- 事業性評価に基づく経営改善・本業支援を通じた中小企業向け融資の拡大
- フルバンキング化の定着による地元中小企業との取引基盤強化

#### 個人戦略

マス戦略の効果的な展開による取引基盤の構築

- インターネットバンキングを活用した資産形成・運用メニューの拡充による取引間口拡大
- コールセンター機能の有効活用による顧客対応力の強化
- ポイント制の拡充による若年層取引の強化

## 2. 基本方針～リレーション&ソリューションの深化②

### (法人向けソリューション)

本部の支援体制の整備・強化により、ライフステージに対応した質の高い多様なソリューションを提供いたします。

### ライフステージに対応したソリューションの提供

#### 創業期

- ビジネスマッチング
- 補助金、助成金、利子補給活用支援

- 33FGビジネスプランコンテスト
- 創業計画策定支援
- 創業ファイナンス

#### 成長・安定期

- 独自ファンドを活用したLBOローン
- ストラクチャードファイナンス
- ABL、コベナンツ、シンジケートローン
- クロスボーダーローン

#### 再生・転換期

- 販路拡大支援・人材紹介業務
- M&Aアドバイザー業務

- 経営改善計画策定支援
- REVIC、再生ファンド等の活用による経営改善、事業再生、事業転換支援
- 本部専担者による事業承継支援
- 資本性ローン

### ➤ ノウハウの完全融合

両行のソリューションノウハウを完全に融合し、最適なソリューションを提供してまいります。

#### 三重銀行

- ・事業承継
- ・M&A
- ・LBOローン
- ・人材紹介
- ・資本性ローン 等



#### 第三銀行

- ・三重県中南部地域活性化推進PT
- ・医療・介護事業者向け支援
- ・エクイティファイナンス
- ・ABL 等

## 2. 基本方針～リレーション&ソリューションの深化③

(個人向けソリューション)

人生100年時代を見据え、お客さまの人生をトータルでサポートいたします。

### ライフステージ・ライフイベントに対応したソリューションの提供

若年層

資産形成層

資産活用・承継層

デジタル

- インターネットバンキングを活用した資産形成・資産運用ソリューションメニューの拡充
- WEB完結取引の拡充
- セルフ窓口端末、WEB予約サービス・面談サービスの導入
- 諸届・帳票の電子化、印鑑レス、ペーパーレスの推進

資産形成

- iDeCo、つみたてNISA、投資信託等の資産形成商品・サービスの充実
- ほけんの窓口等による平準払い保険の提供
- ポイント制の拡充
- SBIマネープラザとの共同店舗、大和証券との金融商品仲介

ローン

- ローンプラザの有効活用等によるライフプランに対応したローン商品の提供  
(マイカーローン、住宅ローン、教育ローン、リバースモーゲージ等)

SBI マネープラザ

×

三十三銀行

(タブレット端末による受付)



※画像はイメージです。

## 2. 基本方針～リレーション&ソリューションの深化④

グループの総力を結集し、地域の課題解決支援に取り組みます。事業者の皆さまに寄り添い、経営課題やニーズに対して最適なソリューションを提供することで、お客さまの企業価値の向上に貢献いたします。

地域の持続的発展＋事業者の Value Up

### 地域社会、お客さまの“Sustainability”向上に向けた取組み

#### ニューノーマルを見据えた事業者支援

- 事業継続のための迅速な金融支援
- 資本金ローン、再生支援ファンドの活用による資本増強支援
- 本部専門部署による経営改善、事業承継、事業再生・事業転換等の本業支援

#### 地方創生への取組み

- 外部機関との連携によるICT・DXを活用した地域社会の課題解決への取組み
- 地方公共団体等と連携した三重県観光業活性化支援
- 三重県中南部地域活性化推進プロジェクトによる伴走型支援等の強化
- 「リージョネット三重」のECモール化による地場商品の販路拡大支援の強化

#### 規制緩和に対応した新規事業の創出

- 新規事業への取組みの推進
- 店舗統合後の遊休不動産・本部関連施設の有効活用
- 金融仲介機能を活用した新たなコンサルティング業務の拡充
- 人材紹介事業による人材ニーズへの対応力強化

## 2. 基本方針～経営の効率化・最適化①

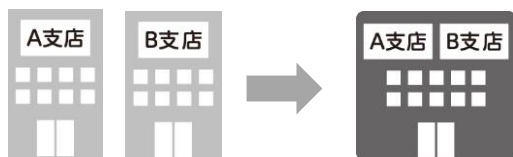
お客さまの利便性を確保したうえで、店舗の効率化・最適化に向けたプロジェクトチーム及びデジタル化等の推進による業務合理化・効率化に向けた組織横断的なプロジェクトチームを設置し、経営の効率化と最適化を実現します。

### ①店舗の効率化・最適化に向けたプロジェクトチーム

#### □店舗統合の早期実施

(ブランチ・イン・ブランチ方式による機能集約)

お客さまの利便性を維持できる本方式により拠点の統合を実施



#### □更なる店舗の効率化

更なる店舗統合の計画・実施することで、一層の効率化を推進

#### □統合後の店舗等の有効活用

統合後の遊休不動産・本部関連施設の地域活性化に向けた活用

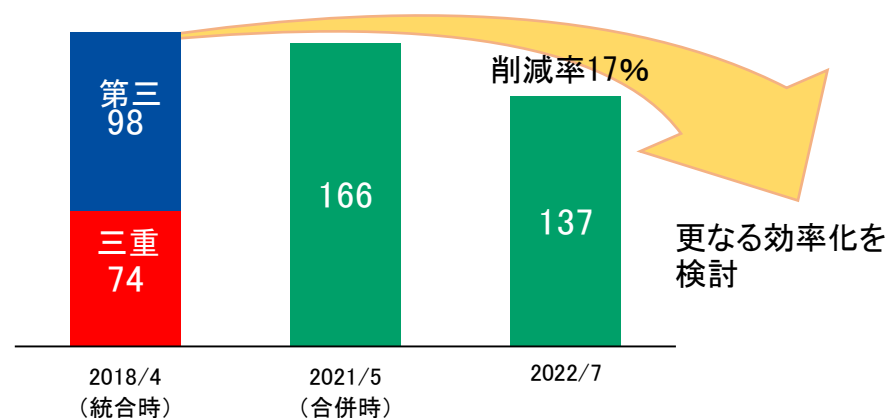
#### □フルバンキング化に向けた取組み

フルバンキング化に向けた取組みを推進し、お客さまのニーズにすばやく的確に対応

➤ 店舗統合 創出人員(第2次中計期間中):約190名

〈拠点数〉

(営業担当人員は削減せず)



➤ 本部統合 創出人員(第2次中計期間中):約300名

本部統合によるスリム化

## 2. 基本方針～経営の効率化・最適化②

### ②デジタル化等による業務合理化・効率化に向けたプロジェクトチーム

#### □デジタル化の推進による銀行業務全体の効率化

DX戦略（デジタル化・FinTechを活用したお客さまサービス・業務効率化）における具体策の企画、推進

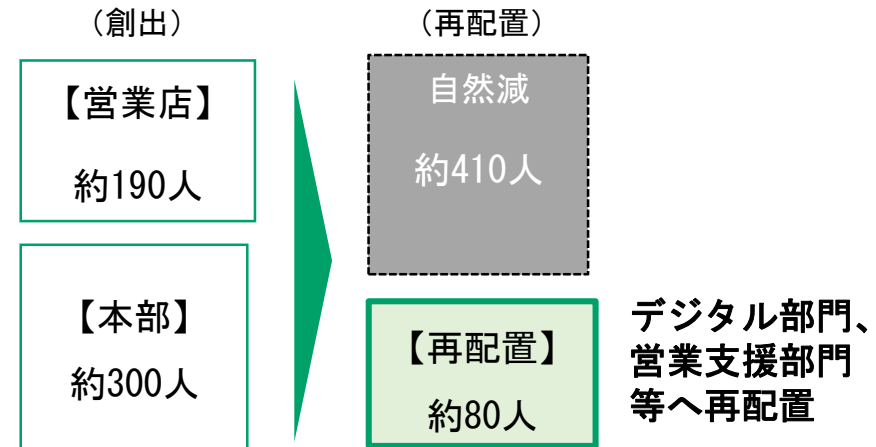
（例示）デジタル化・FinTech活用メニュー

お客さまサービス	インターネットバンキング／スマホ決済・送金 通帳レス・スマホ通帳／保険証券分析ツール ロボ・アドバイザー／AIチャットボット
業務の合理化・効率化	
営業業務	タブレット電子受付（投信・保険販売） リモート面談／店頭取引の印鑑レス化
行内業務	テレワーク環境整備／電子融資稟議 電子決裁・報告／電子契約

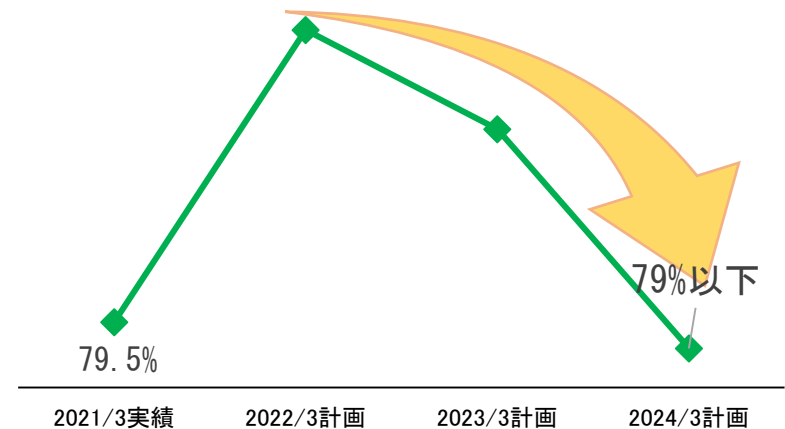
### コストマネジメントの強化

- 合併効果の実現による経費圧縮
- システム全体の最適化
- システム拠点の集約と最適配置
- 事務の共同化等によるコスト削減
- 店舗立地と集中拠点に応じた物流等の最適化によるコスト削減

#### ➤ 経営の効率化及び最適化に資する人員配置の概要



#### ➤ コアOHR



## 2. 基本方針～強固な経営基盤の構築

地域における高度な金融仲介機能を持続的に発揮すべく、適切なリスクテイクを可能にする健全かつ強固なグループ経営基盤を確立します。

### 実効的なガバナンスの実践

- 持株会社、子銀行とも監査等委員会設置会社とし、取締役会の高い監査・監督機能の発揮
- コーポレートガバナンス・コードへの適切な対応
- 政策保有株式の縮減に向けた取組みの推進
- 連結経営の強化

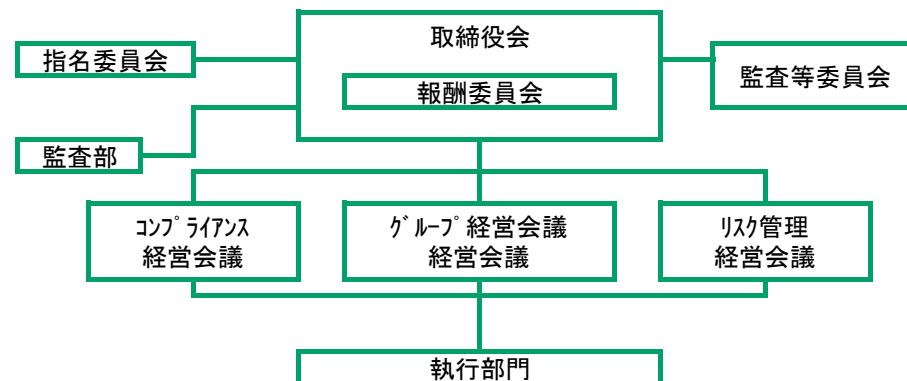
### 高度なビジネススキルを有する人材の育成と働きがいのある組織の構築

- 事業承継、M&A、IT等高度な専門性を持った人材の計画的な育成と採用
- 組織の融和の促進
- 「働き方改革」による生産性の向上
- ダイバーシティの推進

### リスクマネジメントの高度化

- リスク管理と収益管理が一体化した業務運営体制の構築
- 市場リスク、信用リスク等各種リスク管理の高度化
- 実効的なコンプライアンス・リスク管理

### ➤ ガバナンス体制



	33FG	33BK
取締役	14人	17人
うち社外取締役（監査等委員）	5人	4人
うち女性社外取締役（監査等委員）	1人	2人

※2021年5月1日現在

### ➤ 働き方改革・ダイバーシティ(KPI)

- 健康経営 : 「ホワイト500認定取得」
- ダイバーシティ : 指導的立場にある女性職員の割合

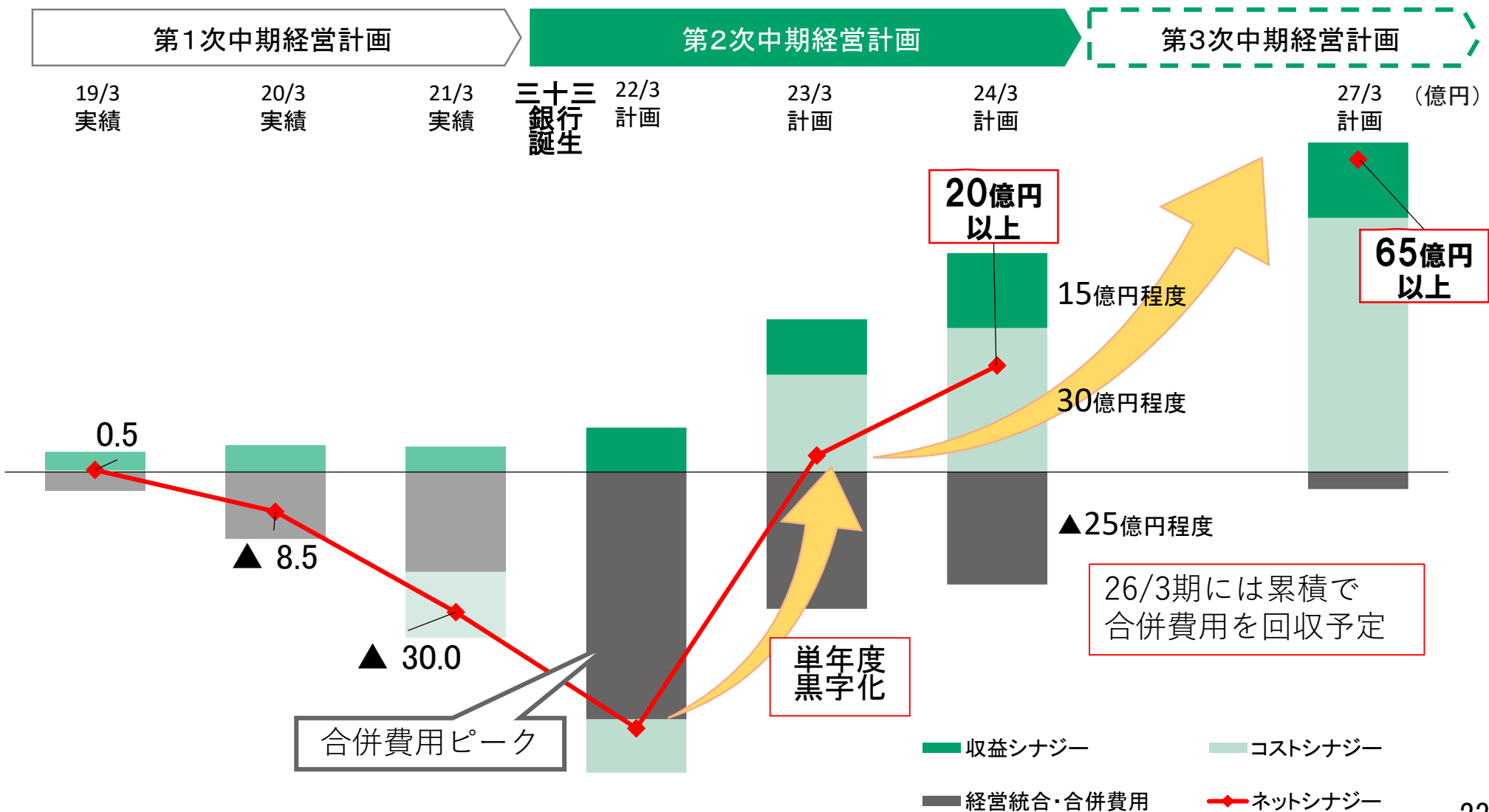
2020年度21%（三重・第三合算）

2023年度 25%以上








### 3. 合併シナジーの最大化～合併シナジーの全体像

合併シナジーの最大化を図り、ネットシナジーは合併2年目の2023年3月期で単年度黒字化、2024年3月期には20億円以上を目指します。また、2027年3月期には単年度で65億円以上を目指します。



# 4. 持続可能な地域社会の実現に向けたグループ総合力の発揮

地域の課題解決・持続的発展に資する取組みをグループ全体で実践し、SDGsの達成に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点課題・取組方針	対応するSDGs	33FGの主な取り組み
<p>(1) 地域経済の持続的成長への貢献</p> <p>事業性評価に基づく融資や創業支援、事業承継、販路拡大、地方創生等、お客さまの課題やニーズに応じた最適なソリューションの提供に努めます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・33FGビジネスプランコンテストの開催</li> <li>・ONSEN・ガストロノミー・ウォーキングの開催支援</li> <li>・インターネットショッピングモール「リージョネット三重」の運営</li> <li>・地域商社「株式会社ネブル・ジャパン」への参画</li> <li>・投資事業有限責任組合の活用</li> <li>・ビジネスマッチングサービスBiz-Createとの連携</li> </ul>
<p>(2) 持続可能な地域社会の実現</p> <p>地域の文化活動、福祉活動およびスポーツ振興の支援や金融リテラシー教育等の提供に努めます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興支援</li> <li>・金融リテラシー教育の実施</li> <li>・NPO応援基金の実施、NPO交流会の開催</li> <li>・三十三ふるさと文化財団の運営</li> <li>・地公体との協働による取組み</li> </ul>
<p>(3) 地域の環境保全</p> <p>地域における環境活動や環境に配慮した金融商品・サービスの提供に努めます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林保全活動の実施</li> <li>・EV車用急速充電器の設置</li> <li>・熊野古道定期による寄付実施</li> <li>・再生エネルギー活用支援</li> </ul>
<p>(4) 働きがいのある職場づくり</p> <p>女性の活躍支援をはじめ、性別や年齢を問わず全ての職員が働きがいを持って活躍するための人材育成や労働環境整備等に取り組めます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て、介護支援施策の実施</li> <li>・女性活躍の推進</li> <li>・多様な人材の活躍推進</li> <li>・働き方改革の推進</li> <li>・銀行敷地内全面禁煙の実施</li> </ul>
<p>(5) 健全経営の実践</p> <p>コンプライアンスの遵守やリスク管理体制の強化を図り、健全経営の実践に努めます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスの徹底</li> <li>・マネー・ロンダリング及びテロ資金供与対策の取組み</li> </ul>

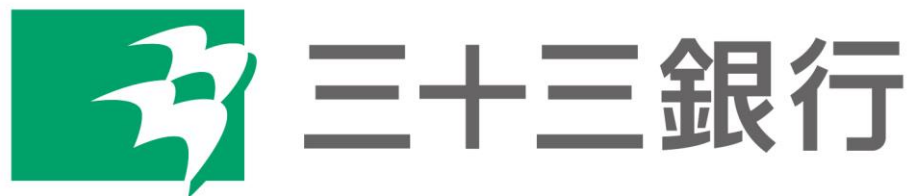
## 5. 計数計画

### ビジネスモデルに関するKPI

		2021年3月期実績 (単年度、2行合算)	2021年4月～2024年3月 (3年累計)
リレーション	地元（三重県+愛知県）事業性貸出残高	12,937億円	13,150億円(3年増+213億円)
ソリューション	創業支援	支援先数	93先
		ファイナンス先数	630先
	ビジネスマッチング	対応件数	2,103件
		成約先数	809先
	事業承継支援件数	573件	1,575件
	M&Aアドバイザー一件数	29件	75件

### 財務計数

		2021年3月期実績 (2行合算)	2024年3月期
収益性	当期純利益	単体	65億円以上
		FG連結	50億円以上
	ネットシナジー	▲30億円	20億円以上
効率性	コアOHR	79.5%	79%以下



---

三十三フィナンシャルグループ